

一般国道307号 いちのべ なしま (市辺～奈島)

じょうよう いちのべ なしま (城陽市市辺～奈島)

一般国道307号は、滋賀県彦根市ひこねから宇治田原町うじたわらを經由して大阪府枚方市ひらかたに至る幹線道路であり、第二京阪道路や京奈和自動車道等と接続する京都府南部地域の重要な東西軸を形成し、第2次緊急輸送道路としての役割も担っています。また、現在建設中である新名神高速道路の宇治田原IC（仮称）予定地に位置し、アクセス道路としての重要性が高まっていますが、当該区間は、線形不良箇所が連続し、車両の円滑な走行の支障となっています。

このため本事業は、線形改良を実施することで、高速道路へのアクセス等の向上を図るものです。令和元年度は、測量設計、用地補償、築造工事を実施します。

◎事業概要

全 体 計 画	H30 までの実績	R 元計画
事業期間：H27～R5 事業延長：1.3km 幅 員：6.5～13.0 (10.5～19.0)m 総事業費：約16億円	事業概要：測量・設計 用地測量・調査 用地補償 事業費：1.4億円	事業概要：測量設計、用地補償 道路築造 事業費：3.8億円

◎事業効果

- 線形改良により、現道の交通難所を解消し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 第2次緊急輸送道路としての信頼性が向上します。
- 高速道路へのアクセス向上により、地域産業の振興や交流人口拡大等に寄与します。

現道の状況



位 置 図

